

## 千葉大学病院にて入院下で神経性やせ症の治療をされた

患者の皆様、ご家族の皆様へ



2023年4月1日 精神神経科

精神神経科では、Family Based Treatment（FBT）を用いた入院治療の有用性を検討するカルテ調査に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

### 本文書の対象となる方

2015年1月1日～2023年9月30日の間に千葉大学医学部附属病院  
精神神経科に入院し、神経性やせ症の診断で加療された方の内、退院後6か月経過した方

#### 1. 研究課題名

「精神科病棟での Family Based Treatment（FBT）を用いた入院治療の有用性を検討するカルテ調査研究」

#### 2. 研究期間

2023年承認日～2023年9月30日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

#### 3. 研究の目的・方法

神経性やせ症と診断された方に行った治療が、どの程度効果があったのか調べる研究です。カルテにある情報から収集を行う為、患者の皆様とご家族の皆様に新しく検査をしてもらったり質問に答えてもらったりすることはありません。

また、当院のみで行う研究であるため、外部の人が皆様の個人情報を見ることがありません。

本研究で取り扱う情報は、氏名等の特定の個人を識別できる情報を削除して研究 ID に置き替えて扱います。研究 ID と氏名はインターネットに繋がっていないパソコンで管理する為、ウイルスなどによりインターネットに情報が流れてしまう心配はありません。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

以下の情報をカルテから収集します。

(1)年齢 (2)性別 (3)入院時 BMI・退院時 BMI・退院1か月後 BMI・退院6か月後 BMI (4)発症年数 (5)家族の精神・身体疾患既往歴、自傷・他害歴 (6)同居家族 (7)用いた治療法の種類（FBT、行動制限を用いた治療）

※以下は FBT を行った者のみ調査する。

- (8)ミールセッションの頻度・回数 (9)ミールセッション参加家族
- (10)ミールセッションの形態（対面のみかオンラインか）
- (11)有害事象（患者又は家族の自傷他害、精神疾患の発症）

## 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究（代表）機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者（または研究代表者）：精神神経科 教授 伊豫 雅臣

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院子どもこころ診療部スタッフルームの鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

お問い合わせはこちら  
らの電話又はメール  
アドレスへ！

相談窓口：〒260-8677  
千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学医学部附属病院精神神経科  
臨床心理士 荒井 美音里  
043(222)7171 内線 72560  
メールアドレス aria.m@chiba-u.jp

